

平成27年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素 施策番号： 5-3

局・課名： 市長公室 企画部 企画推進担当

事業名	(仮称)水素エネルギー社会構築事業	平成25年度決算額	平成26年度予算額	平成27年度要求額		
			0	9,492		
事業概要	【目的】 昨年6月に閣議決定した安倍政権の成長戦略である「日本再興戦略」において、燃料電池自動車(FCV)や水素インフラの規制見直し及び水素ステーション整備に関する事項が明記されており、堺市の特性を踏まえた水素社会の方向性を探る観点から、水素活用のポテンシャルを把握・整理するとともに、低炭素型のエネルギーシステム構築に向けた水素の活用方策について検討を行う。また、水素エネルギーを端緒とした産業構造の転換を図ることで外資の誘導を行い、地域経済の活性化を図ることでアベノミクス3本の矢にある持続的な経済成長にも寄与していく。	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
	H ~ H					
	【内容】 水素エネルギーについて先進的な取り組みを行っている市内企業や大学と連携して、水素社会の構築に向けた産官学協働の組織づくりを行い、以下の項目を踏まえたロードマップの作成を行う。 (1)水素活用に向けた取組み動向の整理 水素戦略、施策動向、企業の取組み、制度上の課題等 (2)水素活用方策のメニューと先進事例 産業部門、エネルギー転換・供給部門、運輸部門等 (3)堺市における水素活用方策 水素活用ポテンシャル、水素活用モデルの検討等 (4)水素活用の普及促進に向けた今後の取組み 重点地域及び先導プロジェクト、普及促進体制等	主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	26年度予算	27年度要求額	内容・積算等	
		水素エネルギー協議会設立	0	9,296	負担金	
		その他		196	旅費	
		合計	0	9,492		
	【今年度要求のポイント】 燃料電池自動車の普及に伴い、水素ステーションの整備も行われていくことが予想されるが、こうした水素関連の事業をトリガーとして水素活用の普及促進体制を築きあげる。	スケジュール(経過及び今後展開)				
	【経過(～26年度)】 国家戦略特区へ「水素社会の構築」を提案	【27年度】 エネルギーとしての水素の調査研究 水素ステーションの整備検討	【今後予定(28年度～)】 水素エネルギーの普及促進及び啓発			
	その他 特記事項 みんなの審査会対象外 関連事業:					

整理番号： 01 - 1 - 0010